

# 2024前期公開講座 5月4日(土)スタート!!

の  
び  
や  
か  
に

〈会 場〉ノースアジア大学40周年記念館2階271教場 / あきた芸術劇場ミルハス



ノースアジア大学総合研究センター

# 令和6年度総合研究センター前期公開講座のお知らせ

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も皆様に、本学総合研究センター客員教授及び本学教授の方々を中心といたします前期公開講座をご案内申し上げます。

5月4日(土)は、ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサートでございます。秋田市立土崎中学校吹奏楽部をゲストにお迎えし、武蔵野音楽大学講師で、本学総合研究センター客員教授の佐藤正人先生と本学吹奏楽部・明桜高校吹奏楽部顧問の石崎聖也先生の指揮の下、ノースアジア大学・明桜高校との吹奏楽部によるコンサートをご来場の皆様にお届けいたします。

6月15日(土)は、脚本家、本学総合研究センター客員教授の内館牧子先生のご講演会です。演題は、「消えた歌の風景」です。内館先生は、本学の教育諮問委員もお務めしております。

6月29日(土)は、秋田栄養短期大学講師で、管理栄養士の田中景子先生のご講演会です。演題は、「おいしく食べて健康に！～シニア世代の食育講座～」です。健康は第1です。ご期待いたしましょう！

8月25日(日)は、読売新聞特別編集委員で、本学総合政策学部教授の橋本五郎先生のご講演会です。演題は、「これでいいのか日本の政治」でございます。橋本五郎先生は、本学の教育諮問会議の委員もお務めしております。

9月14日(土)は、秋田栄養短期大学教授の細川敬三先生のご講演会でございます。演題は、「一般食品と医薬品の中間に位置する保健機能食品ってなあに？」です。私たちはこの保健機能食品をうまく使い、健康の維持と増進に役立てたいです。しっかりと受講したいと思います。

皆様の多数のご来場をお待ちしております。

ノースアジア大学 総合研究センター長 道 端 忠 孝



# ご 案 内

ノースアジア大学総合研究センター主催の公開講座につきまして、ご案内申し上げます。

公開講座日程は右ページのとおりでございます。会場&駐車場の案内図は14頁に掲載しております。原則として高校生以上の方であれば、どなたでも受講できます。ただし、「ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート」につきましては、中学生以下の方もご来場いただけます。受講につきましては、下記のとおりお申し込みくださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 1. 申込方法について

下記のように①～④通りの方法でお申し込みできます。15頁の「登録料(受講料)について(ご案内)」を確認のうえ、お申し込みください。

### ① 郵送

綴じ込みの「公開講座受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記「お問い合わせ先」にお送りください。

### ② FAX

綴じ込みの「公開講座受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記「お問い合わせ先」FAX番号にお送りください。

### ③ E-mail (メール)

綴じ込みの「公開講座受講申込書」を参考に、受講者のご氏名(フリガナ)・年齢、ご住所、電話番号、講座名を下記「お問い合わせ先」にお送りください。

### ④ 電話

綴じ込みの「公開講座受講申込書」を参考に、受講者のご氏名(フリガナ)・年齢、ご住所、電話番号、講座名を下記「お問い合わせ先」にお知らせください。

## 2. 登録料(受講料)について

登録料(受講料)につきましては、綴じ込みの「銀行振込用紙」をご使用ください。秋田銀行からお振込みの場合は、振込手数料が全額免除されますので、ご利用をお勧めいたします。(登録料(受講料)は最初に受講する講座の開講日5日前までにお振込みください。)

※「銀行振込用紙」は各金融機関の窓口(郵便局を除く)でお振込みすることも可能ですが、所定の振込手数料がかかります。

## 3. 受講に際して

- 1) お振込みを確認後、入場券を送付します。来場時、受付にて入場券をご提示いただきますよう、お願い申し上げます。
- 2) 教室内は禁煙です。飲食も原則禁止しますが、飲み物につきましてはこの限りではありません。
- 3) 定員に達した場合は、当センターより連絡いたします。何卒ご了承ください。
- 4) 交通機関につきましては、14頁をご覧ください。運行状況により変更になる場合もございます。また、駐車場に限りがございますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

## 4. 申込締切期限について

### 各講座の7日前までにお申し込みください(必着)

\* 受講を取りやめる場合は、お手数でも当センターへご連絡ください。

#### お問い合わせ先

ノースアジア大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北水桜守沢46-1 URL <http://www.nau-grc.jp>  
TEL 018-836-4531 FAX 018-836-6530 E-mail [scenter@nau.ac.jp](mailto:scenter@nau.ac.jp)

# 令和6年度ノースアジア大学総合研究センター前期公開講座日程一覧

No.	公開講座名・講師名	開催日時・会場	登録料(お一人様)
1	<p>ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート 武蔵野音楽大学講師 ノースアジア大学総合研究センター客員教授</p> <p style="text-align: right;">佐藤 正 人</p> <p>ノースアジア大学吹奏楽部 ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部顧問</p> <p style="text-align: right;">石崎 聖 也</p> <p>秋田市立土崎中学校吹奏楽部 ノースアジア大学吹奏楽部・ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部</p>	<p>5月4日(土) 午後3時00分～5時00分 (開場 2時30分)</p> <p>あきた芸術劇場ミルハス 大ホール</p>	無 料
2	<p>講演会「消えた歌の風景」</p> <p>脚本家 ノースアジア大学教育諮問委員 ノースアジア大学総合研究センター客員教授</p> <p style="text-align: right;">内館 牧 子</p>	<p>6月15日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 12時30分)</p> <p>ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場</p>	前期4講座 合計で 3,000円
3	<p>講演会「おいしく食べて健康に！ ～シニア世代の食育講座～」</p> <p>秋田栄養短期大学栄養学科講師 管理栄養士</p> <p style="text-align: right;">田 中 景 子</p>	<p>6月29日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 12時30分)</p> <p>ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場</p>	
4	<p>講演会「これでいいのか日本の政治」</p> <p>読売新聞特別編集委員 ノースアジア大学教育諮問委員 ノースアジア大学総合政策学部教授</p> <p style="text-align: right;">橋 本 五 郎</p>	<p>8月25日(日) 午後1時30分～3時00分 (開場 1時00分)</p> <p>ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場</p>	
5	<p>講演会「一般食品と医薬品の中間に位置する 保健機能食品ってなあに？」</p> <p>秋田栄養短期大学栄養学科教授</p> <p style="text-align: right;">細 川 敬 三</p>	<p>9月14日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場12時30分)</p> <p>ノースアジア大学 40周年記念館2階 271教場</p>	

※令和6年度前期公開講座につきましては、教養講座を休講いたします。何卒ご了承ください。

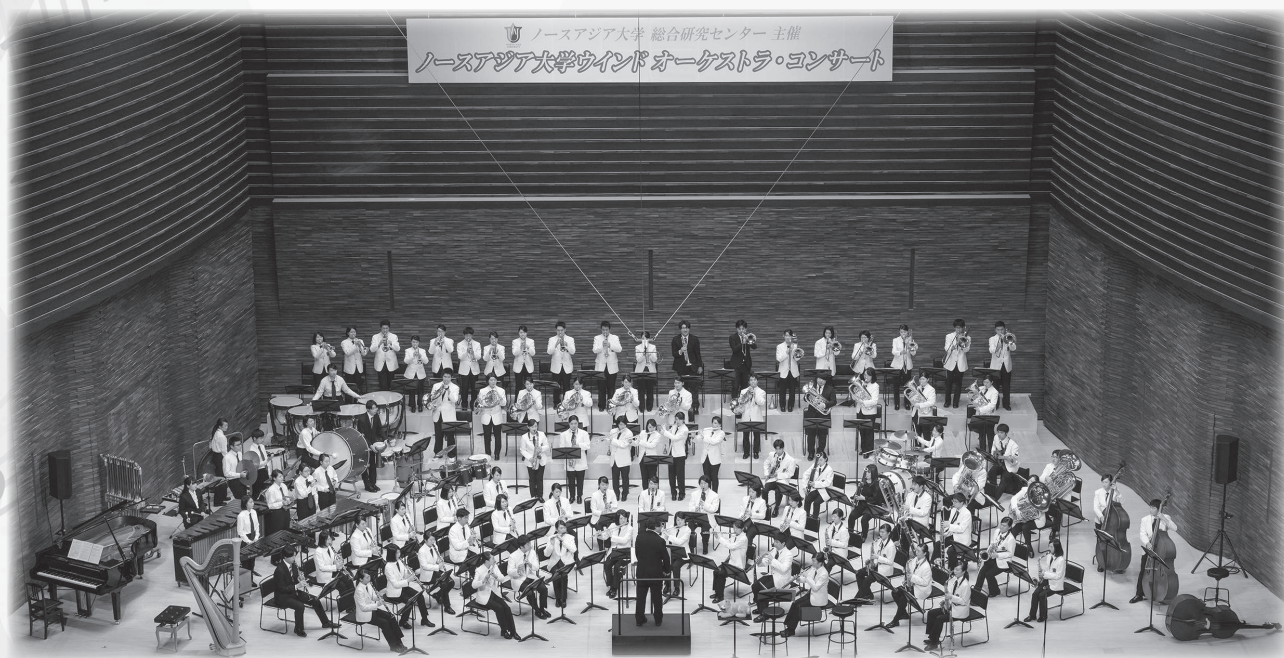


# ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート

ノースアジア大学吹奏楽部・ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部  
秋田市立土崎中学校吹奏楽部

**開講日時** 5月4日(土) 開場:午後2時30分 開演:午後3時00分～

**会場** あきた芸術劇場ミルハス 大ホール



## 〈演奏曲目〉

- ・ 友愛のファンファーレと聖歌 作曲：J. ボック
- ・ 吹奏楽のためのプレリュード～時計台の鐘の旋律による 作曲：鈴木 英史
- ・ カーペンターズ・フォーエヴァー 編曲：真島 俊夫
- ・ ハリウッド・マイルズストーン 作曲：J. ヒギンズ  
他

# プロフィール&コンサート開催に向けてのメッセージ



指揮  
佐藤 正人

## プロフィール

秋田市出身。秋田市立高清水中学校、秋田県立秋田高等学校卒業。武蔵野音楽大学でクラリネットを専攻。昭和58年埼玉県川越市立野田中学校音楽科教諭として着任。12年間教職を勤め吹奏楽部を全国有数のバンドに育てた。平成3年度埼玉県長期派遣研修教員として、東京芸術大学大学院音楽教育研究室で研鑽を積む。平成7年4月より東京ミュージック&メディアアーツ尚美講師として着任。これまで全国の中学校・高等学校・吹奏楽団を指導。広島ウインドオーケストラ、ノースアジア大学ウインドオーケストラへの客演等、海外を含め数多くの演奏会に出演。また、コンクール審査員、レコーディング、クリニック講師等活動中。吹奏楽編曲作品も多数出版されている。

吹奏楽コンクール全国大会へ延べ42回出場、24回金賞、18回銀賞受賞。2006年全日本吹奏楽コンクール長年出場指揮者賞、2010年秋田県木内音楽賞特別賞受賞。2007年西関東吹奏楽連、2015～2020年埼玉県吹奏楽連盟、2021年北陸吹奏楽連盟より優秀指揮者賞受賞。現在尚美学園大学客員教授、武蔵野音楽大学、埼玉県立松伏高等学校音楽科講師。秋田吹奏楽団、川越奏和奏友会吹奏楽団、ソノーレウインドアンサンブル、立正大学吹奏楽部音楽監督。渋谷区青少年吹奏楽団常任指揮者。日本管打・吹奏楽学会理事、「21世紀の吹奏楽《饗宴》」実行委員。

## コンサート開催に向けてのメッセージ

ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサートで毎年一緒にしてきた皆さんと、今年も演奏を通して音楽を楽しめることを嬉しく思っています。世の中が平常に戻りつつあると思っていたところに、新年早々の震災や大災害、続く戦争…と大変厳しい状況が続いている中、演奏会が無事開催され、多くの聴衆の前で演奏できることがどれほど幸せなことか、心から実感しています。今年は、日本でもその音響の良さで注目される素晴らしいホール「ミルハス」での演奏、本当に楽しみです。日本やアメリカを代表する作曲家の作品から映画音楽、カーペンターメドレー等のポップスまで、吹奏楽の魅力満載のプログラムを準備しています。ウインドオーケストラ渾身のパフォーマンスをお楽しみに。



顧問  
石崎 聖也

## プロフィール

### 現職

ノースアジア大学 吹奏楽部顧問  
ノースアジア大学明桜高等学校 教諭  
ノースアジア大学明桜高等学校 吹奏楽部顧問

### 履歴

秋田市出身。山形大学教育学部卒業。全日本アンサンブルコンテスト第25回全国大会金賞受賞。第7回秋田県青少年音楽コンクール最優秀賞受賞。これまでにトランペットを板倉駿夫、佐藤裕司、井上直樹の各氏に師事。また元ポストン交響楽団首席トランペット奏者C.シュリューター、元ベルリンフィルハーモニックトランペット奏者T.クラモー、A.トカレフの各氏のマスタークラスを受ける。ピアノを北条節子、小野崎通男、中畑淳の各氏に師事。2008年には全日本選抜吹奏楽団の副指揮者としてウィーン楽友協会ホールでの演奏会に参加した。2005年より本校吹奏楽部を指導し、全日本高等学校選抜吹奏楽大会へ2度の出場を果たし、2019、2021年にはシンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会へ導いた。全日本吹奏楽コンクール東北大会には2014年より連続して出場しており、昨年は全日本吹奏楽コンクール(全国大会)への初出場を果たした。全日本アンサンブルコンテスト東北大会にもこれまで1回、16チームを出場させている。2021年～2023年の3度に渡りわらび座ミュージカルにおいて明桜高校吹奏楽部が演奏し指揮を執る。

## コンサート開催に向けてのメッセージ

舞台はジャンルを超えて、観客に様々な幻想を蘇らせます。思い出の情景や若かりし頃の姿、亡き人の笑顔や勇姿。そこから涙がこみ上げることもあるでしょう。私たちの演奏で、明日への希望と活力が生まれてくれれば幸いです。今回ゲスト出演して下さる土崎中学校の皆様のフレッシュで港魂みなぎる演奏もどうぞお楽しみください。



## ゲスト校 秋田市立土崎中学校吹奏楽部



私たち土崎中学校吹奏楽部は、「きょうしんどうはく驚心動魄～みんなで奏でる土中サウンド～」をスローガンに掲げ、活動しています。

私たちは、音楽を通して聴いている方々に感謝を伝えられるような演奏を目指し、毎日の練習に取り組んでいます。そして、昨年度の吹奏楽コンクールでは、11年ぶりに県大会に出場することができました。こうした経験を通して、たくさんのお客様の前で演奏することのやりがいや難しさを改めて実感しました。

今年度も、このような素晴らしいホールで大学生や高校生の先輩方と一緒に演奏する機会をいただき、部員一同この日を心待ちにしていました。本日は、貴重な演奏の機会に感謝しながら、思いを込めて精一杯演奏をしたいと思います。

秋田市立土崎中学校吹奏楽部一同





# 内館 牧子 講演会

## プロフィール

現職 脚本家

ノースアジア大学 教育諮問委員

ノースアジア大学 総合研究センター 客員教授

履歴 武蔵野美術大学 卒業

東北大学大学院 文学研究科修了

NHK大河ドラマ「毛利元就」・NHK連続テレビ小説

「ひらり」・TBSドラマスペシャル「塙の中の中学校」

他多数のテレビドラマの脚本を手掛ける。

## 「消えた歌の風景」

開講日時▶6月15日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 午後12時30分)  
会場▶ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場

### 講演内容

私は以前から、童謡や唱歌が歌われなくなったことを危惧していた。

たとえば「みかんの花咲く丘」「朧月夜」といった春の歌、「この道」や「われは海の子」など夏の歌、「まつぼっくり」「故郷の空」などは秋の歌だ。冬なら、かつての子供は「冬の星座」や「お正月」などは、当たり前で歌えた。

むろん、現代も歌い継がれている童謡、唱歌もある。「むすんでひらいて」、「荒城の月」、「どんぐりころころ」なども、現役である。教科書に載っている名曲もある。だが、消えた歌に比べると、その数は非常に少ない。

また「抒情歌」と呼ばれた歌を、私の周囲の五十歳代以下はほとんど知らない。「北上夜曲」も「さくら貝の歌」も聞いたことがないと言うし、「ローレライ」を知らないのにはがく然とした。

そこで月間『giorni』に、その後は月刊『清流』に、日本の名歌がなぜ消えたのかという連載を始めた。現代では消えた文化や風習などを歌い、消えても無理はないと思う曲もあった。だが、何とか歌い継ぐ手段(てだて)はないものかと思う曲も多かった。

本講座では具体的な曲を聴いて頂きながら、当時の日本社会、文化などの背景をお話ししたい。出席者の年代によって、知っているか知らないかの差は大きいはずだ。そして、時代に関係なく、これほどの歌詞、メロディが消えたか…と、衝撃を受けるはずだ。現実である。



# 田中 景子 講演会

## プロフィール

現職 秋田栄養短期大学 栄養学科講師  
管理栄養士

履歴 放送大学大学院文化科学研究科  
文化科学専攻修士課程修了  
桐生大学短期大学部 生活科学科助教

## 「おいしく食べて健康に！～シニア世代の食育講座～」

開講日時▶ 6月29日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 午後12時30分)  
会 場▶ ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場

### 講演内容

「健康寿命」を知っていますか？健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことで、具体的には平均寿命から寝たきりや認知症などで介護が必要となる期間を引いたものです。厚生労働省の調査によると、秋田県民の平均寿命(平成27年)と健康寿命(令和元年)の差は男性6.90年、女性10.38年で、誰かの支援や介護なしでは生活できない期間が7～10年程あると言われていています。また、がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病に起因する本県の死亡者数の割合は高い状況が続いており、生活習慣の改善が課題となっています。

さらに、秋田県民の特徴として「しょっぱいもの好きで野菜摂取量不足」が挙げられます。本県の一人1日あたりの食塩摂取量(10.6g)は減少傾向にありますが、全国平均(9.9g)を上回っており、年代別では特に50～60歳代の男性が多くなっています。野菜摂取量は目標値の一人1日あたり350gには達しておらず、野菜料理一皿分(70g)をプラスしたい状況です。また、シニア世代は噛む力が弱くなったり、運動量の低下などさまざまな問題から食事量が減り、気づかぬうちに低栄養になっていたということもあります。

人生100年時代を元気に過ごすには健康寿命を延ばすことが重要で、睡眠・運動・バランスの取れた食生活が挙げられます。私は管理栄養士の立場から、痩せすぎず・太りすぎず・頑張り過ぎず、をテーマに食事や調理に関して長く続けられるコツをお話したいと思います。ある特定の食品を食べればよい、ということではなく、さまざまな食品を食べることで、まんべんなく栄養素を摂取できます。肉や魚、野菜など自分が普段食べている食品の傾向をチェックし、食事の偏りに注意しましょう。また、毎日調理をするのが大変という方には、外食や中食の利用、冷凍食品や電子レンジ調理もおすすめです。自分らしい人生を過ごすために無理なく継続できる方法を見つけてみませんか。



# 橋本 五郎 講演会

## プロフィール

現職 読売新聞特別編集委員

ノースアジア大学 総合政策学部教授

ノースアジア大学 教育諮問委員

履歴 秋田県山本郡琴丘町(現在の三種町)生

慶應義塾大学法学部卒業後、読売新聞へ入社。

入社後は、浜松支局の記者を皮切りに、読売新聞東京本社社会部記者、政治部記者、政治部次長、論説委員、政治部長、編集次局長を歴任。



## 「これでいいのか日本の政治」

開講日時▶ 8月25日(日) 午後1時30分～3時00分 (開場 午後1時00分)  
会 場▶ ノースアジア大学 40周年記念館 2階 271教場

### 講演内容

政治資金パーティーをめぐる「政治とカネ」の問題は、日本の政治に対する不信に拍車をかけている。どこに問題があるのか。これまで何をしてきたのか。政治家とはいかにあるべきかも含めて考える必要がある。合わせて岸田政権の対応、岸田首相のリーダーシップの特徴などにも言及する。自民党内でスキャンダルが起きたときには、内部から若手議員による突き上げが行われるのがしばしば見られた。しかし、今回はほとんどそうした動きは見られなかった。なぜなのか。自民党への不信が強まっているにもかかわらず、野党の支持率はまったく上がっていない。どうしてなのか。さまざまな観点から論じてみたい。





## 細川 敬三 講演会

### プロフィール

**現職** 秋田栄養短期大学 栄養学科教授  
東京農業大学客員教授  
兵庫大学名誉教授

**履歴** 北海道大学農学部卒業  
北海道大学農学部修士課程修了  
大日本インキ化学工業株式会社(現DIC株式会社)  
株式会社学習研究社植物工学研究所(現株式会社Gakken)  
公益財団法人岩手生物工学研究センター  
国立医薬品食品衛生研究所  
兵庫大学

## 「一般食品と医薬品の中間に位置する保健機能食品ってなあに？」

**開講日時**▶ 9月14日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 午後12時30分)  
**会 場**▶ ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場

### 講演内容

日本がバブル景気の頃(1986年12月～1991年2月)、日本国民総1億がグルメと化していた。また、一世を風靡した「24時間戦えますか」というCMで健康そっちのけで健康は蚊帳の外のような時代であった。その後、働きすぎのせいか健康志向が台頭し、今は健康食品や食育が注目され、食事に気を配り健康を維持・増進する機運が高まっている。また、アスリートは食事の重要性について語る場面が多くなってきた。

食品には3つの機能(栄養機能、感覚機能、生体調節機能)があるといわれている。これらの機能は普段の食事がベースとなっているのはいままでのない。しかし、現代は多忙な毎日のためか健康を食事だけに頼ることが難しいという現実もある。また、貧困のため「栄養機能」でさえ十分に満たせない人々も相当数いるのが現実である(世界はもっと大変)。

このような状況の中、食品の生体調節機能/成分を利用することで健康の維持・増進を図ろうとする商品が開発され、テレビ・チラシなどのコマーシャル・通販で見ない日がないくらいである。これらの商品は、以前は健康を損ねかねない健康食品が一部存在して問題となっていた(今も存在する)。これを契機として科学的根拠に基づいた健康食品の制度が作られた。この講演では、食品成分の生体調節機能に着目して開発された保健機能食品(特定保健用食品(トクホ)、栄養機能食品、機能性表示食品)の概要について紹介したいと思う。この3種類の保健機能食品の特性を理解した上で上手に利用して健康の維持と増進の一助になればと思う。



# 第17回 ノースアジア大学 文学賞

## 趣 旨

私たちの日々の多くは物語であふれています。その物語を文章にしてみませんか。  
豊かな文学の風土に囲まれたこの秋田の地で、皆様の作品を募集します。どうぞ奮ってご応募ください。

## 部 門

### I 高校生の部門

エッセイ(自由作品)の部

- ◎最優秀賞…賞状と副賞(5万円相当の旅行券)
- ◎優 秀 賞…賞状と副賞(3万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞  
…賞状と副賞(8千円相当の図書券)
- ◎学 校 賞…賞状と記念品

### II 大学生・一般の部門

- ①エッセイ(自由作品の部)
- ②短編小説の部

- ◎最優秀賞…賞状と副賞(5万円相当の旅行券)
- ◎優 秀 賞…賞状と副賞(3万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞  
…賞状と副賞(8千円相当の図書券)

それぞれの部で優秀賞は複数選びます。

## 応 募 内 容

高校生の部門及び大学生・一般の部門において、広くエッセイを公募いたします。テーマ及び形式は自由です。なお、エッセイには、随筆・評論を含みます。また大学生・一般の部門のみ、「短編小説の部」を設けました。自由に空想の翼を広げ、自分自身を表現してください。

**応募資格** アマチュアに限ります。  
年齢、学歴等は不問です。

**応募期間** 令和6年6月1日(土)～8月16日(金)  
当日必着

**発 表** 令和6年11月9日(土)  
文学賞授賞式

## 応 募 規 定

応募枚数は、400字詰め原稿用紙5～10枚以内です。なお応募はオリジナルで未発表の作品に限ります。

- ①本文の1枚目冒頭にタイトルと氏名を明記してください。原稿用紙は A4サイズ横判を縦書きで使用してください。ワープロ原稿の場合は用紙 A4横に設定し、40字×30行の縦書きで印字してください。
- ②巻末綴込みの応募用紙に、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、略歴を明記し、作品と併せてノースアジア大学総合研究センターまでご郵送ください。

## 選 考 委 員

内館 牧子

脚本家  
ノースアジア大学教育諮問委員  
ノースアジア大学総合研究センター客員教授

石川 好

ノンフィクション作家  
評論家  
ノースアジア大学総合研究センター客員教授

塩野 米松

作家  
ノースアジア大学総合研究センター特任教授

多くの皆様のご理解・ご協力を  
いただきまして、第16回ノースアジア大学文学賞では486  
作品のご応募がございました。  
今年度も多くのご応募をお待ち  
しています。



●ご希望の方には、文学賞の応募要項を本学総合研究センターから送付いたします●

お問い合わせ先 ノースアジア大学総合研究センター TEL 018-836-4531 FAX 018-836-6530  
〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 E-mail scenter@nau.ac.jp URL <http://www.nau-grc.jp>



# 雪国民俗館 前期イベント

## 第16回展示のお知らせ

### 民俗学への招待

民俗学とは、どのようなことを研究対象とする学問か。伝統的な民俗行事・ナマハゲを事例として考える。

さて歴史学は、記録された文書や史料を手がかりとして研究する学問である。民俗学は、記録に残されていない人間の歴史や社会や文化などを研究する学問である。その際に手がかりとなるものは、地域住民が長い間くり返し積み重ねてきた暮らしの習わし、すなわち生活習慣である。そこには住民の暮らしの変遷や思いが刻み込まれている。換言するとそれは民間伝承ということになる。民俗学は、民間伝承を研究の対象とする学問といえる。

男鹿のナマハゲ行事は、少なくとも江戸時代後期から現在に至るまで脈々と継承されてきた暮らしの文化である。男鹿の地域を構成する全市町村で行われていたところに特徴がある。そして、根底にはお山の信仰が流れている。男鹿の歴史を辿るには、欠くことのできない暮らしの習わしであり文化である。昭和53年に国指定、重要無形民俗文化財となり、平成30年にユネスコの無形文化遺産に登録されている。

この企画展では、民俗学とはどのような学問か、皆さんを「民俗学へ招待する」というのがねらいである。

開催期間 8月24日(土)～8月25日(日)

開催場所 ノースアジア大学40周年記念館1階

## 民俗・社会・経済・文学に関する自由研究のサポート

小・中・高校生のみなさん！  
自由研究をサポートします。

民俗・社会・経済・文学の中から幅広いテーマに対応します。

I 自由研究の上手な書き方(紙媒体)を配布

II 自由研究のサポート

### ①小学生向け(例)

- ・ナマハゲとは何?
- ・竿燈は秋田だけの行事?
- ・どうして社会は変化するの?
- ・マタギってどんな仕事?

### ②中・高校生向け(例)

- 1)テーマ設定
  - ・秋田の伝統文化と芸能
  - ・農山漁村のくらし
- 2)経済成長と社会の変化
- 3)資料提供と質疑応答

対象 小・中・高校生

実施日 1) 8月24日(土)、25日(日)  
2) 小・中・高校の夏休み期間

希望日 随時電話受付

連絡先 ノースアジア大学雪国民俗館  
担当: 嵯峨  
TEL: 018-836-6592  
Mail: saga@nau.ac.jp



今年度のテーマは「民俗学への招待」



展示室の様子



見学者





## 寄贈いただける民具の募集

雪国民俗館に多くの方々から貴重な品を寄贈して頂き、誠にありがとうございます。寄贈品コーナーに順次展示していますので、どうぞご来館下さい。

本館では、例えば子供の遊具(スケート、コマ、メンコなど)、祝い具、炭焼き用具、鍛冶用具、機織り用具、商業用具、木こりの用具、提灯、刀剣・鉄砲類、古書、古文書類などを必要としています。

しかしこの他にもご家庭で使用されなくなった古民具類には、暮らしの変化を伝える上で貴重な役割を持つものがたくさんあります。寄贈を申込みされる方はご連絡ください。

寄贈品は本館目録に登録して保存します。また寄贈者にはその年度に発行する『雪国民俗(※)』1冊を謹呈いたします。

※本館の年間活動を記録した出版物です。



(農作業着と子供の冬着)



(農具)

**募集期間** 期間は問いません

**料金** 無料(運搬費等もありません)

**手続き方法**

電話による  
申し込み

現物の確認

現物の受け取り  
と書類手続き

..... 1週間程度

※寄贈申込みの民具が本館に既に收藏されている場合もあります。

その際には保存・管理の都合上、寄贈をお受けできないことがありますのでご了承ください。

**連絡先**

**TEL 018-836-6592 (担当：嵯峨)**





## 登録料(受講料)について(ご案内)

令和6年度前期公開講座をご受講いただくにあたり、登録料(受講料)をいただいております。料金につきましては、下記のとおりでございます。別紙申込書にてお申込みいただくとともに、綴込みの振込用紙にて登録料(受講料)をお振込み下さいますようお願い申し上げます。

No.	講座名・講師名	日時・会場	登録料 (お一人様)
1	内館牧子先生講演会 「消えた歌の風景」	令和6年6月15日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	4 講座 合計で 3,000円
2	田中景子先生講演会 「おいしく食べて健康に！ ～シニア世代の食育講座～」	令和6年6月29日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	
3	橋本五郎先生講演会 「これでいいのか日本の政治」	令和6年8月25日(日) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	
4	細川敬三先生講演会 「一般食品と医薬品の間位置する 保健機能食品ってなあに？」	令和6年9月14日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271番教場	
5	ノースアジア大学 ウインドオーケストラ・コンサート 指揮:佐藤 正人 ゲスト:秋田市立土崎中学校吹奏楽部	令和6年5月4日(土) あきた芸術劇場ミルハス 大ホール	無 料

- ◎No.1～4の講演会は、何講座受講されましても、登録料(受講料)はお一人様一律3,000円です。
- ◎別添の「振込用紙」をご利用いただき、講演会7日前までに必ずお振込みください。
- ◎受理した登録料は、いかなる理由がありましても返還いたしません。ご了承願います。
- ◎講演会当日、現金でのお支払いは受付することが出来ません。
- ◎登録料(受講料)の振込確認後、当センターより入場券を送付いたします。
- ◎講演会当日、入場券をご持参くださいますようお願いいたします。

受付番号

- 必ず作品ごとにこの用紙を添付してください  
(複数応募の際はコピーしてください)

## 第17回ノースアジア大学文学賞応募用紙

ノースアジア大学 学長 殿

下記のとおり、第17回ノースアジア大学文学賞に応募します。

部 門 ※応募する部に○を してください。	I 高校生の部門 ①エッセイ(自由作品)の部	II 大学生・一般の部門 ①エッセイ(自由作品)の部 ②短編小説の部
作 品 名	応 募 枚 数 ( ) 枚 ※表紙を含まず、400字詰原稿用紙換算で枚数を記入してください。	
氏 名	ふりがな	生年月日 ※西暦で記入して下さい。
	男・女	年 月 日 (2024年9月1日現在 歳)
筆 名	ふりがな	※大学生・一般の部門にご応募で、筆名をお持ちの方のみ記入して下さい。 ※記入されました場合は、筆名での公開となります。
現 住 所	〒 ー	
	ふりがな	
	都 道 府 県	市 区 郡
	TEL : FAX : E-mail :	
在籍学校名 勤務先名		学年 年生
年	月	最終学歴・職歴

- 応募用紙の太枠内はすべて記載(記載できない場合はなしと記載)して下さい。  
●受付番号には何も記入しないで下さい。  
●勤務先名・略歴につきましては、可能な範囲でのご記入をお願いいたします。



# 公開講座受講申込書

ノースアジア大学総合研究センター 宛

下記のとおり受講申込みします。

(郵送・FAX)

郵送先

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢 46-1  
ノースアジア大学総合研究センター 宛

FAX番号 018-836-6530

申込日 令和 年 月 日	
フリガナ	年齢
ご氏名	歳
ご住所 〒 —	
都道府県	市区郡
TEL ( )	FAX ( )
E-mail	

No.	公開講座名	日時・会場	人数
1	ノースアジア大学 ウインドオーケストラ・コンサート	令和6年5月4日(土) あきた芸術劇場ミルハス 大ホール	名
2	内館牧子先生講演会 「消えた歌の風景」	令和6年6月15日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名
3	田中景子講演会 「おいしく食べて健康に！～シニア世代の食育講座～」	令和6年6月29日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名
4	橋本五郎先生講演会 「これでいいのか日本の政治」	令和6年8月25日(日) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名
5	細川敬三先生講演会 「一般食品と医薬品の間位置する 保健機能食品ってなあに？」	令和6年9月14日(土) ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場	名

※枠内に必要事項を記入してください。

※複数の場合は本書をコピーしてお申し込みください。

※ご記入いただいた情報は、ノースアジア大学・秋田栄養短期大学からの各種連絡・情報提供のために利用いたします。

ノースアジア大学総合研究センター  
振込金受取書  
(兼手数料領収書)

令和	年	月	日	円	
		3	0	0	0
金額					
振込先	秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学				
ふりがな ご依頼人 (受講者)	おなまえ				

振込手数料		円
-------	--	---

上記のとおり振込金として領収いたしました。

取扱店出納印
--------

(取扱店 → 振込人)

振込通知書 電信扱

下記のとおり、お振込みしましたので、ご通知  
申し上げます。

令和	年	月	日	円	
		3	0	0	0
金額					
振込先	秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学				
ふりがな ご依頼人 (受講者)	おなまえ				
ご依頼人 住所	〒 TEL				

取扱店出納印
--------

(取扱店 → 秋田銀行本店 → ノースアジア大学)

キリトリ

振込依頼書

依頼日	令和	年	月	日
振込先	秋田銀行本店 普通 861545 学校法人ノースアジア大学 【お問い合わせ先】 TEL (018) 836-4531			
ふりがな ご依頼人 (受講者)	おなまえ			
ご依頼人 住所	〒			
日中のご連絡先	TEL	-	-	-

振込手数料		円
-------	--	---

電信扱

金額					円
		3	0	0	0

※取り扱い銀行へのお願い  
秋田銀行の本店・支店から指定期間内のお振込みの場合は、振込手数料をいただくかないよう配慮願います。

(取扱店 保管)



■2024 前期公開講座

■2024年 4月4日 印刷

■2024年 4月8日 発行

■編集

ノースアジア大学総合研究センター

■発行

ノースアジア大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1

Tel. 018-836-4531

Fax. 018-836-6530

E-mail [scenter@nau.ac.jp](mailto:scenter@nau.ac.jp)

■印刷

株式会社塚田美術印刷

〒010-0921 秋田市大町1-6-6

Tel. 018-823-5551



お問い合わせ先



## ノースアジア大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢 46-1

TEL 018-836-4531 FAX 018-836-6530

E-mail [scenter@nau.ac.jp](mailto:scenter@nau.ac.jp) URL <http://www.nau-grc.jp>